

令和 5 年度 施策評価表

施策	0201 幼児教育の充実	施策担当部	こども未来部	部長	杉野 幸夫
		施策担当課	こども政策課	課長	内野 一嗣
施策の方針	幼稚園、認定こども園及び保育所（園）における教育力の向上や幼保小連携の強化、障がい児等の支援などに取り組み、子どもたちに質の高い幼児教育を行う。				
関連するSDGsのゴール	  				

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R4年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 大村市教育・保育力向上研修会参加者数	人/年	382	385 182	388 252	392	396	400	64.9%	63.0%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

新型コロナウイルス感染症が流行する中で、状況を注視しながら開催方法等を工夫して計画どおりに研修会を実施したが、参加者は目標値を下回った。

施策経費

(単位:千円)		R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	特記事項
内訳	事業費	104,694	140,380	137,408	
	国庫支出金	5,311	7,579	9,837	
	県支出金	5,411	5,485	7,313	
	地方債	0	0	0	
	その他	8,434	11,689	11,314	
	一般財源	85,538	115,627	108,944	
	人件費	161,120	125,892	—	
フルコスト	265,814	266,272	—		

施策の概要（細施策）

020101	質の高い幼児教育の提供	幼稚園、認定こども園及び保育所（園）において、幼児教育の研究や職員等への研修の実施などにより、教育力の向上に努めます。 また、小学校等との連携により、子どもの状況やそれぞれの教育目標、指導の内容などについて情報を適切に共有するなど、発達や学びの連続性を確保します。 さらに、質の高いきめ細かな幼児教育の提供と子どもたちの育ちを支える幼児教育環境の充実を図ります。
020102	障がい児等特別な配慮を要する子どもへの支援	障がい児等特別な配慮を要する子どもにきめ細かに対応するため、特別支援教育コーディネーターや補助員の配置、個別の支援計画等の作成など、それぞれの子どもに配慮した支援体制の整備を推進します。

**【CHECK（評価）施策担当部長】**

**施策を達成する上での問題点・課題**

質の高い幼児教育の提供を維持するため職員の専門的な知識や技術取得が必要であり、同時に市内の各園に対し知識や経験の共有を図ることが重要である。  
 また、公立幼稚園及び公立認定こども園において幼児教育の研究をしていたが、令和4年度末をもって公立幼稚園を全園閉園したため、令和5年に開設した幼児教育・保育支援センターを活用するとともに、今後は当該センターの機能を充実させていく必要がある。  
 特別な配慮を要する子どもへの支援は、専門的な知識等が必要であると同時に、その支援ができる体制づくりが課題である。要配慮児が年々増加する中、就学以降を念頭に置いた小学校等との連携と、各園での支援体制の充実が必要がある。

**【ACTION（改善・改革）】**

**上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方**

幼児教育・保育支援センターにスーパーバイザーを配置（委嘱）し、教育・保育施設への専門性が高い支援を行うと同時に、職員の能力向上（幼児教育アドバイザー研修の受講、スーパーバイザーとの連携による専門的な知識やノウハウの取得）を図る。

**令和6年度新規事業**

	事業名	担当課	令和6年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	